

北太平洋を中心とした中高緯度における海洋変動

更新日：2018年08月06日

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 共同利用研究集会

日 時：平成30年8月28日（火）13:00～17:30
8月29日（水） 9:00～15:40
場 所：東京大学 大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター
〒028-1102 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜一丁目19番8号
TEL: 0193-42-5611
研究代表者：長船 哲史（海洋研究開発機構）
Tel: 046-867-9453 E-mail: osafune@jamstec.go.jp ※「◎」は「@」に変換して下さい
さい 田中潔（東京大学大気海洋研究所）

プログラム

（**：特別講演、*：招待講演）

8月28日（火）

13:00–13:10 趣旨説明・事務連絡

Session 1 座長：長船 哲史（海洋研究開発機構）

13:10–13:40 竹内 謙介**（北海道大学名誉教授）
離れて見る海洋物理学

13:40–14:10 望月 崇*（海洋研究開発機構）
初期値化を施した中高緯度気候予測

14:10–14:40 田口 文明*（東京大学 先端科学技術研究センター）
北太平洋中高緯度域における密度補償する水温・塩分の十年規模変動

14:40–15:10 西川 はつみ（北海道大学 低温科学研究所）
北太平洋移行領域の形成メカニズムと変動

Session 2 座長：岡 英太郎（東京大学 大気海洋研究所）

15:25–15:55 橋本 晋（仙台管区気象台 地球環境・海洋課）
近年の親潮面積と沿岸域の海面水温

15:55–16:25 中川 憲一（仙台管区気象台 地球環境・海洋課）
沿岸水温予測技術と大槌湾の水温調査について

16:25–16:50 孫 艶枚（東京大学 大気海洋研究所）
防波堤再建後の釜石湾の海洋環境

16:50–17:15 亀山 昂平（名古屋大学 環境学研究科 地球環境科学専攻）
波浪と海洋混合層の相互作用についての解析研究

After session

18:00– 海洋パート懇親会

8月29日（水）

Session 3 座長：福澤 克俊（東京大学大学院 理学系研究科）

9:00-9:30 轡田 邦夫（東海大学 海洋学部）
OFES出力による北太平洋熱帯・亜熱帯海洋循環の風成力学機構

9:30-10:00 山口 凌平（東北大学大学院理学研究科）
観測された温暖化に伴う海洋成層化トレンド

10:00-10:30 佐藤 克成（気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課 海洋環境解析センター）
北西太平洋亜熱帯循環域における二酸化炭素蓄積量

Session 4 座長：山口 凌平（東北大学大学院理学研究科）

10:45-11:15 木田 新一郎*（九州大学応用力学研究所）
沿岸域に着目した粒子追跡シミュレーションについて

11:15-11:45 松村 義正（東京大学 大気海洋研究所）
三陸沿岸を対象とした非静力学海洋ダウンスケールモデルの構築

11:45-12:15 福澤 克俊（東京大学大学院 理学系研究科）
気象津波の発生に関わる湾水振動

Session 5 座長：杉本 周作（東北大学 学際研）

13:15-13:45 柏井 誠（水産海洋研究工房「親潮屋」）
オホーツク海の密度逆転データ 第2部：海峡部の密度逆転を作る水塊

13:45-14:15 豊田 隆寛（気象庁 気象研究所）
衛星観測の薄氷データを用いた海洋・海氷シミュレーションの改善

14:15-14:45 坂本 天（東京大学 大気海洋研究所）
海洋気候値データセットを用いた栄養塩濃度推定の試み

14:45-15:15 長船 哲史（海洋研究開発機構）
潮汐18.6年振動により生じる水温偏差東進と移流モードロスビー波

After session

15:15-15:40 総合討論